

12月「クローバーだより」(全3ページ)



*子どもの気持ちや考えへのより深い理解が、不登校の改善につながります。

A子さん(高3)が、前向きな気持ちで進路選択ができたのは、・・・? 進路校の選択は、子どもにとって一大事業です!

12月になり、中学校3年生や高校3年生は、進路を選択する時期を迎えました。

読者の皆さんのご家庭では、・・・

子どもさんの進路選択は、順調に進んでいますか。

先日、ある保護者さんと、
子どもさんの進路について話し合いました。



Aさんは、文化系の大学を希望しているのですが、・・・
「どの大学を受験しようか」「どんなコースが自分に向いているのか」など、
いろいろと思案していて、なかなか進路先が決まらないので、
Aさんも保護者さんも、落ち着かない日々を送っていた・・・とのことでした。

この時期、どのご家庭でも、ありそうな風景ですが、・・・
実際場面で、保護者の皆さんは、子どもさんとどのような関り方をされていますか。

◆Aさんが、大学のオープンキャンパスで感じたこと

Aさんのお話を続けます。

Aさんは、12月までに、
選択候補となりそうな大学のオープンキャンパスに参加し、
説明会や個別相談、模擬授業や体験実習などを体験してきました。



最初に参加したX大学のオープンキャンパスでは、・・・
興味関心を引かれる授業内容で、大学の雰囲気もよさそうで、しかも、資格が取得できる
ということで、・・・Aさんは、よい印象を持ちました。

2 番目の Y 大学のオープンキャンパスには、2 回、参加しました。

1 回目のオープンキャンパスでは、・・・

興味のあるカリキュラムがいろいろ組まれていることが分かり、模擬授業は楽しく、しかも、頑張れば、いろいろな資格が取得できるということで、

・・・A 子さんは、X 大学以上に、よい印象を持ちました。

そのよい印象をもったまま、「この大学を受験してみようかなあ」と思いながら、

A 子さんは、2 回目のオープンキャンパスに参加したのですが、・・・

あまり関心のない授業が、いくつか必修になっていることに気づきました。

◆ そんな時、皆さんなら、・・・どのように対応しますか？



そこで、A 子さんは、お母さんに、

「最初に行った X 大学のオープンキャンパスに、もう一度、行ってみたいんだけど、・・・」と話しました。

そんな時、読者の皆さんだったら、どのように対応されますか。

こんな風に、なかなか進路先が定まらない時の対応は、とりわけ重要です。

一旦、歯車がかみ合わなくなってくると、・・・

進路選択は拗れてしまいますし、親子関係もわるくなりますし、子どもの学習意欲や受験への意欲も心配されるからです。

◆ では、・・・A 子さんのお母さんは、どのように対応されたのか？

A 子さんのお話を続けます。

そんな時、・・・

「1 回行った大学のオープンキャンパスに、何で、2 回も行かないといけないの。」

・・・と言ってしまいたくなりますね。

しかし、A 子さんのお母さんは、

「Y 大学が、あなたに合っていないかも知れない、と思ったんだね。」

・・・と A 子さんの気持ちに、共感されたのだそうです。

どうして、そのようにお話されたのかと伺ってみると、・・・

「**A子は、原点に戻って、進路先を、もう一度考えてみようと思ったんだと思います。**」

・・・と返ってきました。

私は、「なるほど」と思いました。

その後のA子さんは、と言いますと、・・・

最初の**X大学**のオープンキャンパスに、再度、参加しました。

そして、さらに3番目の**Z大学**のオープンキャンパスにも、進んで参加しました。

A子さんは、どうして、このように前向きな気持ちで進路選択ができたのか、・・・

読者の皆さんには、お分かりいただけるのではないかと思います。

◆ 子どもが「自己選択」することの意味は、・・・？

自分が希望していない学校に入学し、・・・

不登校になったり中途退学をしたりする子どもさんの事例を伺うことは、少なくありません。

実際、私も、そのような事例を担当させていたことがありますが、

改善がむずかしいケースの1つと言えます。



しかし、**中学校や高校での不登校を乗り越え、・・・**

自分が選んだ学校に入学し、・・・

進学先の学校で不登校になったり中途退学をしたりする子どもさんの事例については、伺ったことがほとんどありません。

少なくとも、私が担当した事例では、・・・1件もありません。

子どもさんが「自己選択」することの意味は、それくらい大きいと・・・私は考えます。

文責 西村明倫

不登校カウンセリング&セラピー「クローバー」代表

公益社団法人日本心理学会認定心理士、心理カウンセラー

一般社団法人日本TFT協会診断レベルセラピスト